

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 5年 1月 31日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービス そらまめはうす

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動室、カムダウン室、ワーク室、休憩室を確保しました。思い切り体を動かす活動は近隣のグラウンド、体育館を借りて行いました。	・もう少し広かったらと思う。・部屋に死角がなく安心できます。	活動スペースは限られているので部屋の用途、レイアウトは活動に合わせて、安全性を考慮し柔軟に変更して使用した。運動は近隣のグラウンド、体育館を借りて行いました。コロナ禍の中の開所なので常時上部の窓を開放し24時間換気を行い感染予防に配慮した。
	2 職員の適切な配置	人員基準の遵守を徹底しました。利用児の人数、活動内容、又は利用児の組み合わせ等に応じて更に1~2名の職員を加配しました。	・利用中の様子は見れないので何とも言えない。	児童発達支援はほぼマンツーマンでの配置が出来た。放デイは定員近くの利用がある場合は複数児童をスタッフ全員が連携して支援を行う体制を取りました。・支援の様子を見たいと希望する保護者には写真や動画を支援後提供した。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用しやすい環境作りは支援を進める過程が必要が生じる度、試行し、その都度振り返り、変更・改善を心掛けました。	・安心して過ごせる環境を作ってもらえて有難い。	咄嗟に視覚支援が必要な状況に備えて必要なカードを部屋に常備、携行カードを身に付ける等工夫した。さらに個々の状況、特性に対応した支援を進めていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	安全を確保するため、衛生管理、整理整頓を徹底しました。職員からの危険個所の報告を受けた際は早急に対応、修理改善しました。活動内容に合わせて部屋のレイアウトの変更を行いました。	・いつもきれいに整っている印象です。・時々お迎えや用事で訪問させて頂いてもいつも明るく整頓されて安心します。	コロナウイルス感染予防対応(3密回)を徹底しました。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議および日々の業務の中で職員同士が課題点を話し合い、協力、分担して効率的に業務できるようにしました。		日頃から意思疎通を心掛け、話し易い雰囲気作りを行い、速やかな業務改善へと繋げていきたいと思ひます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。		今後、実施に向けて計画を進めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の勉強会を開催。その他、外部機関の開催する研修、施設見学を機会を得ることにしています。		コロナの影響で開催や参加の見送りましたが、安全に配慮し可能な範囲で継続していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適宜行いました。	・しっかりと子供に合った計画をしてもらっています。	会議や振り返りで現場スタッフの意見も反映させより良い計画書にし支援に繋げていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	適宜行いました。	・しっかりと話を聞いていただき支援に反映してもらえて嬉しいです。	継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者との定期的な面談、日頃からの相談にも着実に対応する中で保護者と共通認識を持って支援内容を検討していききました。		子どもの日々の観察を入念に行い、成長や変化を見逃さず、それに適した変更を加えて行った。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援の中で着実な実施を心掛けた。支援後は振り返りを行い、ケース記録に詳細に記録し次回につなげ支援の向上を図りました。毎月の全体会議だけでなく必要に応じて情報や認識の共有を行いました。		継続していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議で職員全員で意見を出し合い、次月の活動プログラムを立案、決定しています。		子供たちがわくわくしながら来る楽しい企画をスタッフ一人一人が自発的に考えられる様に進めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	各利用児の学校やご家庭での様子を把握し、それぞれの状況やニーズに合わせた利用児に無理のない支援の在り方を模索しています。		平日は利用児の学校での疲れやストレスを考慮しつつ、ゆったり過ごしながらも自立性や自己選択を重んじる支援を心掛けました。休日は間延びしないよう自立心を促せるようなメインの活動と個々のゆったりできる時間を適切に組み合わせ充実した経験が出来るよう心掛けました。共に貴重な経験となるような活動の実施を心掛けました。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月の活動プログラムは楽しんで行える活動を数種類立案し、個々の利用児に同じ活動が重複しないよう配慮しました。活動は手先の訓練や手順書に沿って行えるように工夫しました。	・いつも内容に工夫してもらい家では難しい体験をさせてもらい嬉しい。・子ども達だけでの色々な体験をさせてもらってとても楽しそうに行かせてもらっています。・予定に無くても外遊びに行ってもらったり活動の幅が広い。・子どもが嬉しそうに活動内容を話してくれるようになりました。・プログラムを色々考えてもらってありがたい。	楽しいだけでなく手順やルールに沿って進めていくことが将来の力になるようにも進めていきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	午前の支援開始前、午後の支援開始前、夕方の振り返りで確認を行いました。		支援直前の全体的な活動、個々の支援の要点、注意事項等の職員間での役割の確認をしっかりと行いました。活動スケジュールは時間も設定し送迎時間にも配慮して個々が十分楽しめるように心掛けました。前回の反省点、注意点は特に確認を徹底しました。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	前日と当日の業務日誌は全職員にグループメールで配信し、周知徹底しました。引継ぎの必要な情報は業務日誌に記録し、その日勤務のないスタッフにも伝わるようにしました。児童の気になった事、変化等は早急に情報共有し対応できる様にしました。		些細な点と思う事も実は大事な課題の糸口であったりもしたので何でも話せるようなスタッフの信頼関係づくりの重要性を感じた。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ケース記録を作成し、当日の様子が詳細に分かるようにしました。次回への改善点も記入しました。次の日の支援の準備の際に必ず目を通し、状況を確認した上で準備し、支援に臨みました。		スタッフは日々の記録の重要性を認識し、支援計画に対応した観察記録はもちろん、成長や変化は確実に記録している。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	面談で毎回保護者やご本人のニーズを聞き、それを確実に計画に反映させる事で計画を練り直し支援の質の向上に努めました。		子どもの成長は目まぐるしく個々の発達段階に応じた計画の見直しの必要性は組織全体で認識できている。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	適宜行いました。		継続していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	対象児の保護者、移行先等の関係機関と相談、必要に応じケア会議等で情報交換をし、現状の共通認識を持つことに努めています。		今後もより一層の連携、協力関係を構築し、利用児が安心して移行していけるよう支援を進めます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	適宜行いました。		今後、対象の利用児には移行先に適応するために必要な支援、準備を進めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	適宜行いました。		継続していきます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	左記を主目的とした活動は実施していませんが、外出活動の中で機会があれば実施していきます。	・特に必要と感じません。・コロナ禍では難しい面があると思う。・余りない印象です。	主目的として行うことは予定していませんが活動の中で機会があれば実施していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	同地区の住民の方から畑作業用の土地をお借りし農作物を栽培させていただき農作業の協力も頂いている。		様々な機会を利用し交流していきたい。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	適宜行いました。		継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	適宜行いました。	・コロナでモニタリングが電話面談なので対面より説明が伝わり辛い部分はある。・定期的に見直し等調整してもらい成長を感じる事も出来ます。	保護者や当事者の思いをできる限り計画に反映し、丁寧で分かりやすい説明を心掛けた。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	必要に応じ、また、保護者からの相談に応じて適宜おこないました。	・何かあったら相談させてもらいすぐに対応の仕方を教えてもらっていますが支援プログラムかは分からない。・子どもの様子をよく見て沢山のアドバイスや優しい声掛けを頂いて安心して通わせてもらっている。	年々保護者の子育ての悩みに対する助言や家庭で無理の無い範囲で出来る実践を伝えて行く事の重要性を感じる。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者と接する機会や連絡帳で極力、情報交換を心掛けました。問題点があれば緊急性に応じて、適宜相談、助言につなげました。	・細やかなやり取りをしてもらって安心してお任せ出来ています。・連絡帳にその日の様子を詳しく書いてもらって様子がよくわかります。・色々相談に乗っていただき有難い。学校とも連携を取ってもらっているので安心できます。・とても細やかな配慮を頂いており親子共々安心して利用させてもらっています。	家庭での様子とそらまめでの様子を普段からやり取りし把握する事に注力しました。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4と同様。	・面談でも互いに情報交換したり意見交換ができて良い時間となっています。・いつも丁寧に対応してもらっています。・子育てに没頭してしまいがちな私達夫婦の不安や悩みに適時対応してもらい感謝しています。子供にとって一番必要なのはペアレントトレーニングだと感じます。・困ったらすぐに助けてもらえて気持ちが楽になります。・不安や悩みを聞いてもらえる場所として大変お世話になっています。	継続していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの影響で保護者を対象としたお話カフェや識者を招いた講演会は全て中止しました。	・コロナで開催出来て無い様だが以前はありました。・もう少し定期的にあると嬉しい。・コロナ禍ではあるが保護者の集まれる場が少ないように思います。・コロナ禍で少ないのか。・平日だと出席しにくいです。	令和5年3月に教育委員会に協力いただき就学に向けての相談会を開催予定。保護者会も次年度は再開していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応体制を契約時に説明を行いました。		継続していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	適宜行いました。	・連絡帳で相談した困り事にすぐにアドバイスが頂け安心感がある。・ゆっくり話せる時間を取ってもらえるので意思疎通は出来ていると思います。	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	個別に保護者、利用児への情報発信は行っている。	・会報等、必要性を感じません。・個人情報の事もあると思いますがHP等で活動中の写真が見たいなあとずっと思っています。せっかく色々体験させてもらっていても連絡帳だけでは伝わりにくいので何か対応してもらえたら有難い。	必要な情報、連絡、周知は個々に文書で伝えたり、玄関に貼り付けました。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	プライバシー保護の内容、重要性の理解、厳正な取り扱いの徹底を図りました。		継続していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、作成ごとに保護者に通知、通達しました。		周知、通達を徹底し、新規利用の契約時に渡し、確認を行います。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な避難訓練の他、ほぼ毎月活動に「防災を考える」活動を入れ、様々な災害に関するテーマを設け、子ども自身が災害が起きたらどう行動するかを考える機会を設けた。	・定期的に分かりやすく訓練してもらっていて有難い。・指示に従って訓練するだけでなく図をもらって自分で考えて避難する等楽しく学ぶ工夫が出来ていると思う。	利用児も参加しての避難訓練を毎年5月と10月に実施する。上記以外にも実施は月一回の避難指定場所である文教府体育館への利用の移動を兼ねての避難訓練を行った。緊急の対応が苦手な児が多いため日ごろから様々な状況をイメージしておくことは重要なので継続していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止のマニュアル、ガイドラインを職員全員で確認し、日々の振り返りの中で、スタッフ同士が適切な行動を行えているか確認を行っている。		今年度は1回の研修に参加し、聴講できなかったスタッフにも後日、伝達した。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	適宜行いました。パニック、自傷、他害行為があった場合の個々の対応は職員間で周知徹底し、保護者にも報告しました。重症心身障害児の支援に関しても細心の注意を払い支援を行った。様子は詳細に保護者にお伝えしました。		継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギー対応表を作成し、全職員が確認できる場所に貼り付けました。おやつ等を提供する際は必ず目を通し確認を行った。不明なことは必ず保護者に確認しました。		誤食等なく安全に対応できました。今後も細心の注意を払っていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成し、発生した場合は記録保存して、職員間に情報共有し、再発防止に努めました。		継続していきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	多くの子どもたちにその日の活動を楽しみに通所してもらっています。引き続き、子供達の好奇心や楽しさを引き出せる支援を心掛けます。楽しい活動を通して物事のルールやマナーを覚えたり、生活のリズムを整えられる様支援し、将来を見据えた支援のあり方を模索して行きます。	・毎回楽しく過ごさせていただいています。優しく笑顔で接して下さるので本人にもよく伝わり嬉しそうにしています。・楽しそうに帰ってくる姿を見ると楽しく過ごしているんだらうなと思います。・予定表を見ながら楽しみにしています。・とても良い息抜きの場所になっている。	継続していきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	個々の子どもたちの将来あるべき姿を想像し、そこに必要な事、課題は何かを探る努力をしました。保護者とも気持ちを共有し共に歩調を合わすべく相談等も出来る限り丁寧に行いました。今後は5年後10年後を見据えた職員全体の支援力の向上、底上げを行ってきたいと思っています。	・通えてとても満足しています。・個々の興味のある事を活動に取り入れてもらってとても満足している。	今後もさらにご本人、保護者の率直な思いを吸い上げて真のニーズを引き出しより子供たちの良い成長に繋がっていきたいと思います。そのためにスタッフ一人一人の支援力を更に高めていきたいと思います。